

東君

松石の文の青一色は
温潤の徳を其を正小

輝き於沛代と

乃のぬきとの女

春興

里人年一洒勃あり
佐久良物

丁卯
晩年

濁るく塵なき
川の流る水

寛政庚戌春

筑陽亭
珉川

石川守信

